

病院訪問
2013
ドクターに聞く

組織への侵襲が低く、術後のリハビリも容易になる 小皮切(最小侵襲手術)による人工関節置換術

桑園整形外科 東 裕隆 理事長・院長

負担の少ない小皮切・
人工関節置換術

下肢疾患を専門とする東裕隆院長は、前職の市立札幌病院から、変形性膝関節症や前十字靭帯損傷の手術を多数手掛けてきたが、「あくまで治療は保存治療が原則。生活に支障を来すケースや痛みが耐えられないなどの場合に適応を絞って手術を行う」との方針を示している。東院長が特に力を入れているのが変形性膝関節症に対する治療だ。この疾患は膝の関節にかかる衝撃を吸収する軟骨や半月板がすり減り、硬い骨まで破壊されていく。主な症状は関節の痛みで、軽度の場合は立ち上がる際や階段を下る際などの痛みにとどまるが、悪化すると何もしなくても痛むようになるという。

変形性膝関節症の治療について「患者さんの体への負担を考えれば、極力手術をしないほうがいいでしょう。まずは筋力訓練や消炎鎮痛剤の使用、ヒアルロン酸の注射、日常生活動作の指導など、保存治療を徹底して行います。それでも効果が現れない方について、手術を希望される場合は検討した上で人工膝関節置換術を実施するようになっています」と東院長は話す。手術が適応となるケースでも、患者の負担を軽減することを重視し、15〜30cmの切開で行う従来法に比べて、膝蓋骨を避けるように側面から5〜9cmの切開で筋肉を温存する小皮切(最小侵襲手術)と呼ばれるのは、耐久性の高い低摩擦の材質を使った最新式の人工関節。深屈曲対応タイプなので、深く膝が曲がる患者でも人工関節の破損を心配することなく生活できる。同院では、日本に導入されてすぐの2002年7月から小皮切を実施し、2012年度的人工関節置換術の手術実績は188例に上る。12年12月現在までの累積症例数は900件を超え、全道のみならず、本州や海外からも患者が訪れる。

小さい切開で筋肉をできるだけ傷つけずに手術する小皮切は、術後の回復が早く、リハビリにも効果的で、入院期間も2〜3週間と短くて済むことから、患者の満足度は高いという。また、小皮切は傷が目立ちにくいため日常生活における外見の不安も解消できる。東院長はその上で、表皮の下の真皮を細かく縫い合わせる真皮縫合という方法を取り入れ、より傷を目立たせないように配慮した治療を行っている。



▲15〜30cmの切開で行う従来法に比べて、小皮切での手術後はわずか5〜9cm。術後の整容面でも優れ、ほとんど目立たない



▲小皮切・人工膝関節置換術の手術風景。膝関節は複数の靭帯がつながっていて、小さな切開での手術には高度な手技が求められる。2012年度の手術実績は188例に上る

スポーツ外傷・
障害にも高度な治療

東院長は、膝の治療に重点を置きながら、スキーやスノーボード、バスケットボールなどのプレー中に受傷することの多い前十字靭帯損傷や半月板損傷の治療に取り組みむなど、スポーツ障害にも積極的に携わっている。

受傷頻度の最も高い内側側副靭帯は保存治療で治るが、前十字靭帯は保存治療での治療は難しく、日常生活に支障を来したり、スポーツをするときに不自由さが残ったりする場合、手術をすることが多くなる。同院では、傷が小さく、筋肉などを傷めにくく、関節の動きがはやく回復しやすい内視鏡下での靭帯再建術を行っている。

また、膝の関節の中にありクッションの役割をする半月板の損傷に対しても、半月板を切除してしまうと将来的に変形膝関節症のリスクを高めてしまうため、できる限り半月板を温存。まず関節鏡で損傷の程度を確認し、縫合できる状態であれば半月板縫合術を施行している。東院長は「膝の痛みや不自由さに悩んでいる人、スポーツ活動などの再開を目指している人を一人でも多く手助けしたい。患者さんが相談しやすい、治療後も来て良かったと思ってくれたらいい」と、人工関節置換術を院を指している。



Profire

理事長・院長 東 裕隆

1992年北海道大学医学部卒業。市立札幌病院整形外科副院長を経て、2007年桑園整形外科開院。日本整形外科学会専門医。医学博士



▲「医療技術とホスピタリティの両面から患者さんに満足してもらいたい」と話す東院長。ホテルのロビーを思わせる待合室など、院内は落ち着いた雰囲気



▲リハビリテーションにあたるスタッフや施設も充実し、一貫した治療が受けられる



医療法人社団 くわのみ会

桑園整形外科

●札幌市中央区北8条西16丁目28-30

TEL.011-633-3636

- 診療科目/整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、麻酔科(福原 世世医師)
- アクセス/JR「桑園」駅下車徒歩約5分
- 駐車場/有(21台)
- 無料送迎バス有

診療時間	月～金曜	土曜	休日
	9:00～12:00 14:00～18:00	9:00～12:00	日曜、祝日

http://www.dr-azuma.net/

